

大地の声

2022 January

1

JA CHIBATOUKATSU

謹賀新年



今年の干支 寅

本年もよろしくお願ひいたします

ふなばし三番瀬海浜公園より



代表理事組合長
青木 進

新年明けましておめでとうございませう。組合員並びに地域の皆様方には、輝かしい新年をお迎えのことと、謹んでお慶び申し上げます。

また、平素より当JAの事業活動につきましましては、格別のご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げますと共に、新型コロナウイルスによる影響を受けられました皆様方には心よりお見舞い申し上げます。

さて、JAを取り巻く情勢を見ますと、農協改革について規制改革実施計画が閣議決定され、その中で准組合員の事業利用については、各JAが組合員との対話に基づき方針を決定することとなりました。これまでの自己改革の取り組みが評価されたものと受け止めておりますが、今後も自主的な改革は継続してまいります。

このような中、昨年、当JAにおきましては、任期満了に伴う新たな体制での船出の年となりました。自己改革の取り組みである「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」を更に加速させるため、野田地区経済事業の集約化・効率化を目的とした「野田地区経済センター」を昨年12月に新設移転しました。TACを中心に専門職員の充実を図り、適切な指導と有益な情報提供を行ってまいります。また、農家の人手不足解消と障がい者の働く場の確保等を目的として、昨年、農業と福祉が連携する「農福連携」の取り組みを試行しました。地域貢献の一環として、今後も積極的に取り組んでまいります。

本年は当JAにとって、「第5次中期経営計画」「第4次地域農業振興計画」の初年度にあたります。これまでの各事業と自己改革への取り組みを検証した上で、計画の策定をしてまいります。自己改革の基本目標実現に重きを置いた計画を実施することで、皆様のご期待に応えることができるよう、役員全員が全力で取り組んでまいりますので、より一層のご支援・ご協力を賜りたくお願い申し上げます。

結びに、皆様のご健勝とご繁栄をお祈り申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。

新春を寿ぎ、
皆様の**ご健勝**と**ご繁栄**を
お祈り申し上げます

代表理事組合長	青木 進	理事	吉岡 錫永	常務理事	大塚 幸夫	専務理事	木下 宏之	代表監事	金子 行雄	常勤監事	田村 正幸	監事	寺田 幸夫	職員一同
青木 進	山村 勝則	矢口 勇二	荒木 大輔	篠崎 達夫	染谷 勝成	松本 清	染谷美佐夫	遠藤 満男	山田 賢一	知久 拓生	濱嶋 寿夫	染谷 透	谷口 政夫	湯原 靖雄
高橋 和夫	飯田 利明	荒木 康弘	須藤 映二	増田 史子	金子しのぶ	鈴木 等	嶋貝 誠	松崎 潤一	田中 恒	峯川 豊	染谷 茂幸	小池 長男	石井 宏	

千葉米食味コンクールに入賞！— 東部地区 鈴木哲夫さん

JA全農ちばが主催する「令和3年産千葉米食味コンクール」で、当JA東部地区の鈴木哲夫さんが「全農千葉県本部長賞」を受賞しました。当JA管内では、初の入賞となります。

同コンクールは、千葉県産コシヒカリをPRする場と、品質向上・生産意欲向上を目的に行われ、7回目を迎える今回は、県内17JAから計79点の応募がありました。成分分析や粒揃い、味度値の測定などによる1次・2次審査を通過した上位4名が最終審査会に進みました。



(写真左より) JA全農ちば運営委員会 松元善一副会長、青木進組合長、鈴木裕一さん、千葉県農林水産部流通販売担当 石家健生部長、JA全農ちば運営委員会 林茂壽会長



表彰式の様子

最終審査会では、米・食味鑑定士を含む審査員7名が最終審査に進んだ4名の米を試食し、香り・外観・味など6つの評価項目で審査を行いました。

12月13日に農業会館(千葉市)で行われた表彰式では、鈴木哲夫さんに代わりご子息の裕一さんが出席し、全農千葉県本部木村浩彰本部長より表彰状が贈られました。

貴重な意見交換の場となりました— JAちば東葛青壮年部協議会



挨拶をする鈴木等会長

JAちば東葛青壮年部協議会は11月22日、柏支店会議室で役員会を開催し、当JA青木進組合長をはじめとする常勤役員との意見交換を行いました。同協議会の役員のほか、当JAの役職員ら計25名が出席しました。

意見交換会は、若手生産者の意見や要望を伝えることで、今後のJA事業に反映し、より活発な運営を目的に開催されました。

新型コロナウイルス感染症の影響でなかなか会議の実施が叶わず、当JA新体制発足後初の意見交換会が、ようやく実現しました。

参加者からは組合の現状やあり方、人材や体制について、出荷に対する意見など、次々と率直で活発的な発言がありました。

また、意見交換会の後には、昨年柏地区・野田地区で試験的に実施した「農福連携」と、令和5年から開始される「インボイス制度(適格請求書等保存方式)の概要」について事務局から説明がありました。

情報発信のコツを教えてくださいました—JA (西船地区)

11月30日、西船地区多目的ホールにて、西船地区青壮年部員の配偶者を対象とした、「女性向け野菜直売セミナー」の第2弾を開催しました。

6月の開催時と同様、今回も中小企業庁千葉県よろず支援拠点のコーディネーター・森脇菜採氏を講師に、実例や実施する際のポイントを交えながら、「SNSを活用した野菜の販売手法」や「6次産業化導入ポイント」を教えてくださいました。

参加した方からは、「バイヤーへの“売り”をうまく伝えられない」「ブランディング力を高めたい」など意欲的な質問や意見があがり、森脇氏が一人一人に丁寧で的確なアドバイスをしていました。



更改交渉開始—鬼怒川線々下対策協議会

令和4年4月に迎える第16次に向け、鬼怒川線々下対策協議会は11月25日、関宿支店2階会議室で第1回更改交渉を行いました。

同協議会役員10名が東電用地(株)に対し、更改についての要求根拠を説明し、補償料更改単価の提示をしました。

また、12月16日に行われた第2回更改交渉では、第1回の更改交渉に対し、東電用地(株)から補償単価据置と回答があり、合意には至りませんでした。



挨拶をする鳩貝道夫会長

同協議会は、妥結に向け引き続き粘り強い交渉を行います。

いよいよオープンを迎えました—野田地区経済センター

12月6日、新設移転した野田地区経済センターがオープンしました。

当日は、オープンを待ちわびた組合員の皆さんや近隣住民が見守る中、青木進組合長が感謝の挨拶を述べたあと、役職員ら7名が今後の発展を祈願しながらテープカットを行いました。

その後、役員が来店した先着300名に、オープン記念品(軍手などのセット)を手渡しました。



テープカットをする役職員

ナイスプレー！—柏地区女性部



柏地区女性部は11月30日、柏市の新富げんきなひろばで健康教室を開催し、部員の皆さん19名がグラウンドゴルフを楽しみました。

この日は好天にも恵まれ、合計5チームが8ホールを2周し、個人ごとの得点を競いました。

結果は、優勝・増田史子さん、準優勝・根本富美子さん、3位・出山敏子さん、4位・鈴木喜美子さんでした。

今回は事務局の他に、柏支店の職員4名も参加し、部員の皆さんとプレーを楽しみながら親睦を深めました。

気分は一気にクリスマス！—西船地区女性部

西船地区女性部は12月1日、西船地区多目的ホールで第4回フラワーアレンジメントクラブを開催し、11名が参加しました。

この日は、(株)花源の田島直人氏の指導を受けながら、クリスマス用のツリー型アレンジメントに



挑戦しました。リースにも使用されるクジャクヒバでベースとなるツリー型を作り、数種類の菊や赤い実が付いたヒペリカムを飾り付け、360度どこから見ても美しく見えるように仕上げました。

出来上がる頃には、参加した皆さんもすっかりクリスマス気分になっていました。



いつでも備えを！—野田地区女性部



野田地区女性部は12月8日、野田地区経済センター会議室で短期大学第4回講座を開催し、18名が参加しました。

講座は、(一社)家の光協会の吉岡さとみ氏を講師に「わたしノート」作りを、同法人の小出翔大氏を講師に「防災ブレスレット」作成の2部構成でした。

エンディングノートを指す「わたしノート」作りでは、親族表の書きだしなど、自身を見つめなおし、今後のライフプラン

を考えるきっかけにもなりました。また、防災ブレスレット作成では、災害時にも使える丈夫でカラフルな紐を使い、実用的で可愛いブレスレットが仕上がりました。

万が一に備えた内容ですが、皆さん前向きに楽しく取り組まれていました。



営農情報

【水稲 まだ間に合う！ 土壌改良資材の施肥について】



東部地区経済センター  井上 慶太

今月の営農情報では、水田の土壌改良資材についてご案内させていただきます。

「最近、収量が落ちてきたな……」と感じることはありませんか？

もしかすると地力の低下が原因かもしれません！土壌はやせ細っていきます。やせ細っていくと、植物体が弱く倒伏してしまったり、分けつ数が確保できないといった事が起こります。どちらも収量に直結する問題です。

また、植物体が弱くなると倒伏だけでなく、病害虫の侵入を許してしまう事にもなります！これは、ペースト肥料や一発肥料だけではカバーしにくい問題です。

改善するには！

「農力アップスーパー 60」や「けい酸加里プレミアム34」といった**土壌改良資材**の施用が効果的です。

秋の田起こしの際に施用するのが作業面でも理想ですが、まだ間に合います！以下の商品は、共に代かきの**2週間前まで散布**できます！

どちらの資材もケイ酸が入っており、高温障害対策や根張りの強化が見込めます。そうすると近年、多く見られる乳白米の軽減や倒伏軽減、耐病性の向上、食味の向上が期待できます！

資材紹介



商品名：農力アップスーパー 60

施肥タイミング→晩秋～冬に施用し耕起

施肥量(10a) →60～100kg

特徴 ①ケイ酸により、葉や茎を丈夫にし、病害、倒伏への抵抗
②鉄やマンガンも含んでおり、稲の根腐れや秋落ちを軽減
※秋落ち：登熟不良で収量が少なくなる現象の事。



商品名：けい酸加里プレミアム34

施肥タイミング→耕起前に前面散布

施肥量(10a) →40～60kg

特徴 ①根張りの強化、茎葉を硬くし、倒伏軽減
②登熟が高まり、粒張り、乳白米の軽減
③ケイ酸により、葉や茎を丈夫にし、病害、倒伏への抵抗

管内直送！新鮮野菜即売会

J A ちば東葛
野田地区経済センター竣工記念

農業機械展示会

令和4年

1/22(土) 23(日) 8:45 ~ 15:00

50万円以上(税込)成約のお客様に記念品を進呈!!

常設展示期間

令和4年1月24日(月)~28日(金)

※【9:00~14:00】の展示となります。

詳しい内容は、県北西JA広域農機センターまでお問合せください。

会場ご案内図

住所：野田市中里3746 TEL：04-7129-6611



お問い合わせ先

県北西JA広域農機センター
TEL：04-7138-3556
担当：鈴木・鳥海

1/22(土)・1/23(日)

共同購入トラクターの試乗・ドローン等の
実演会実施!



※写真はイメージです。

同時開催

管内直送
新鮮野菜即売会!



焼きそば・豚汁
無料配布!

※11:00~13:00
時間限定で配布します

※新型コロナウイルス感染症の状況によって
無料配布は中止になる場合があります。

＜新型コロナウイルス等の感染・拡大防止対策にご協力をお願いします。＞

- マスクを着用してのご来場をお願いします。
- 受付の消毒・検温をお願いします。
- 相互間・同席間を避けてください。
- いかなる場合においてもマスクを着用し、検温による体調不良が確認された場合は来場を中止してください。
- 会場内での飲食はご遠慮ください。
- 会場内での飲食は原則として禁止です。
- 「咳」・「痰」・「発熱」などの症状が認められる場合は、来場を中止してください。
- 会場内での飲食は原則として禁止です。



= JA ちば東葛管内 組合員さんのお店紹介 =



福田支店管内
本宮 弘司 さん

石井産業株式会社 瀬戸中央SS

今回、ご紹介するお店は、野田市福田瀬戸地区で、昭和41年の創業から今日まで燃料の給油・配達、タイヤの販売・交換、洗車などで地元の生活を支え続けるガソリンスタンドです。アットホームな雰囲気でお客様を優しく迎えます。

近隣のガソリンスタンドではあまり行っていない軽油の配達を行い、重機を取り扱うお客様に重宝されています。2代目オーナーの弘司さんは『事故がないように』『ていねいに』を心掛けており、誠実なお人柄は安心して愛車を任せられます。

ドライブなどでお近くにお寄りの際は、長く地元の方から信頼されている『瀬戸中央サービスステーション』に行かれてはいかがでしょうか？



(右から)弘司さん、克己さん



【住 所】 野田市瀬戸553 【TEL・FAX】 04-7138-0316
【営業時間】 7:30 ~ 19:30(月~土)、8:00 ~ 18:00(祭日)
【定休日】 日曜日

アンテナショップ daichi コーナー こかぶ即売会



こかぶちゃんもPR!

12月9日、アンテナショップ daichi で JA ちば東葛柏小かぶ共撰部会が出荷する“こかぶ”の即売会を開催しました。

街行く方からも「綺麗!」「美味しそう」「おすすめの食べ方は?」と、

とても興味をもっていただき大盛況でした。

日々の店頭販売も定着し、最近では「今日小かぶ入っていますか?」という声も多く聞かれるようになりました。

今後も、産地の野菜のPRに力を入れていきたいと考えております。

農産物直売所「ふなっこ畑」コーナー ニッポン全国物産展に出店



青木進組合長も店頭に立ちました

11月19日(金) ~ 21日(日)の3日間、池袋サンシャインシティ展示ホールで開催された、ニッポン全国物産展のマルシェブースに「ふなっこ畑」が出店しました。

店頭には、立派な葉付き大根、みずみずしい小かぶ、ピンとした小松菜、味が凝縮された秋の枝豆が揃い、新鮮な野菜の存在感は沢山のお客様の目にとまり、大変賑わいました。「購入して美味しかったからまた来ました」「今度、ふなっこ畑に行くよ」などのお声もいただき、大変好評な3日間でした。

まちがいさがし

右のイラストには左のイラストと違う部分があります。間違っている部分を左下の枠内の数字で探しましょう。



間違いがある部分の数字をお答えください

Five empty red square boxes for entering the answers.

出題・イラスト：酒井栄子

正解者の中から抽選で5名様にクオカード(500円)をプレゼントいたします。

12月号の答え **3、5、7、10、12**

- 3…山の高さが違う
- 5…舌を出している
- 7…箸の長さが違う
- 10…えびフライが少ない
- 12…ワッペンが違う



◎応募方法 ハガキ又はEメールにて①答え②住所③氏名④年齢⑤職業⑥電話番号⑦2月号のテーマ「一番感謝を伝えたい人と伝えたい一言」(30字以内にて)をご記入の上ご応募ください。

◎宛先 〒277-0861 柏市高田362 JAちば東葛 総合企画部「パズル係」または、info@ja-chibatoukatu.or.jp

◎締切 1月19日(水) (消印有効)

- 当選者の発表につきましては、賞品の発送をもってかえさせていただきます。
- 応募については、管内にお住まいの組合員及びそのご家族の方に限らせていただきます。
- ご応募に際して取得しました個人情報、「個人情報保護法」に基づいてお取り扱いいたします。なお、テーマについてお寄せいただいた一言・ご意見等は「——市 T.Oさん」との表記でご紹介させていただきます。

お便り紹介

1月号のテーマ『我が家のお餅活用レシピ』

●小さく切って乾燥させて、かき餅にします。シンプルな醤油の味が後を引きます。(野田市 N.Wさん)

●切り餅を出汁入り卵でクルクル巻きます。見た目は普通の出汁入り卵ですが、切ると中から餅が出てきてなかなか美味しいです。(柏市 S.Nさん)

●正月用の餅を沢山つきますが、食べきれず残ってしまった時は、油で揚げてお醤油を付け、揚げ餅でいただきます。(野田市 E.Mさん)

●油揚げの中に餅を入れて、揚枝で留めて、出汁・砂糖・醤油で甘辛く煮る、と美味しいですよ。(野田市 K.Aさん)

●餅を焼いて伸ばし、その上に餡子を乗せ、包み込み、まんじゅうのように食べることで。(野田市 H.Tさん)

●①餅を揚げ、砂糖醤油に絡める。
②適当な大きさに切り、天日干して揚げ。好みの味にし、自家製あらわれにします。(我孫子市 T.Kさん)

●焼き餅、お雑煮、おしるこ…はもとより、団ぐららないうちに、細かく切り干してアラレにします。お好み焼きに入れても美味しいです。揚げ餅も喜ばれます。(野田市 M.Sさん)

●揚げ餅です。揚げたてのお餅にお醤油をかけ、外カリ内トロで大好物です!!(野田市 M.Mさん)

●乾燥したお餅を細かく割るか、小さく切ったお餅を油で揚げて、醤油をかけた「かき餅」です。祖母がよく作ってくれました。(野田市 T.Kさん)

●つきたての餅にあんこを入れて、食べるどわわわで美味しいですよ。(野田市 H.Nさん)

●サイコロ状にして揚げ餅にします。ニンニク醤油を絡めると美味しさが増します。(野田市 H.Nさん)

●温かいうどん・そばに入れる力餅です。寒い日にあたたまりますよ。(野田市 T.Iさん)

2月号のテーマ「一番感謝を伝えたい人と伝えたい一言」です

確定申告のお知らせ

1. 譲渡・贈与相談会

■相談日

- 野田地区 1月13日(木)、27日(木)
- 柏地区 1月13日(木)、20日(木)、27日(木)
- 西船地区 2月2日(水)、3日(木)
- 東部地区 個別に予約対応させていただいております。

■相談時間(各地区共通)

午前10時～正午、午後1時～午後3時

■相談会場

- 野田地区
 - 1月13日(木) [うめさと支店2階会議室]
 - 1月27日(木) [野田地区経済センター会議室]
- 柏地区 [柏支店2階小会議室]
- 西船地区 [多目的ホール2階会議室(行田施設内)]
- 東部地区 [各支店会議室]

2. 確定申告記帳相談会

■相談期日(各地区共通)

2月16日(水)～3月8日(火)

■相談時間(各地区共通)

午前9時～正午、午後1時～午後4時

■相談会場

- 野田地区 [各支店会議室・相談室]
 - ※青色申告部会会員の方は、ご来店いただく日を個別にご案内いたします。
- 柏地区 [柏支店2階小会議室]
- 西船地区 [多目的ホール2階会議室(行田施設内)]
- 東部地区 [各支店会議室]
 - ※ご来店いただく日は個別にご案内いたします。(柏、西船、東部地区)

野田地区の農業用廃プラスチック類の回収について

野田市では農業用廃プラスチック類を回収するにあたり、今年度も廃プラ類の放射線量の測定を行うことになりましたのでお知らせします。農家の皆様には以下の点に注意していただき、廃プラ類の搬入を行ってください。

- ① 回収日：令和4年1月23日(日)
- ② 時間：午前9時～正午 旧関宿地区・午後1時～午後4時 旧野田地区
- ③ 集積所：野田市堆肥センター
- ④ 梱包したビニールの1つ1つに、農家登録番号と分類を油性マジックで記入してご持参ください。記入がない場合、処理工場では回収できません。

分類

- ・廃ビニールA：平成23年3月に展張されていた使用済みビニール
- ・廃ビニールB：廃ビニールA以外の使用済みビニール
- ・廃ポリエチレン：使用済みポリエチレン(従来どおり、番号等記載不要)

上から見た梱包「廃ビニールA」の記入例
(例)

2084251111 (A)	「農家登録番号」とは、2084を頭に付けた電話番号(71を除く)です。 (例) 7125-1111 → 2084251111
----------------	---

1つ1つの梱包に農家登録番号と分類を記入

- ⑤ 回収時に廃プラ類の放射能測定を行います。その結果、0.23マイクロシーベルト/時以上検出された場合は回収できませんのでご注意ください。
- ⑥ 梱包する前に、付着した土や泥をよく水で洗い落してください。

理事会報告 -12月-

12月10日、柏支店2階会議室で理事会が開催され、下記の議案が審議されました。

協議事項

- (1) 農産物検査業務規程の一部追加について
- (2) 職務権限表の一部変更について
- (3) 令和3年度9月期半期開示項目について

報告事項

- (1) 大口信用供与先報告について
- (2) 総代選挙立会人の選任について
- (3) 職員の人事異動について
- (4) 主要業務実績について

行事予定・1月

- 8日 ●一斉訪問日
- 11日 ●理事会
- 18日 ●柏地区青色申告部会 通常総会・研修会(柏支店2階会議室)
●船橋青色申告会理事会(青色会館)
- 22日 ●農業機械展示会(野田地区経済センター)
- 23日 ●農業機械展示会(野田地区経済センター)
●野田地区園芸用廃プラスチック回収(野田市堆肥センター)
- 25日 ●野田地区青色申告部会 通常総会(野田地区経済センター)

■確定申告決算指導会

柏地区	1月27日～2月15日	午前9時～午後4時
野田地区	2月1日～2月15日	午前9時～午後4時
東部地区	2月1日～2月15日	午前9時～午後4時

市場・休市日、開市日

休市日(日曜・祭日のほか)…1月19日(水)・1月26日(水)・2月2日(水)・2月9日(水)・2月16日(水)
開市日……………2月11日(金)

JA 顧問弁護士、税理士、社会保険労務士による無料相談会

1月の相談日			
	開催日	開催場所	顧問名
税務相談	11日(火)	東部支店	松丸
		行田支店	深代
	13日(木)	うめさと支店	深水
		柏支店	春日
	18日(火)	東部支店	松丸
	20日(木)	柏支店	春日
	27日(木)	川間支店	深水
行田支店		青木	
法律相談	13日(木)	柏支店	小倉
	20日(木)	西船支店	草薙
	25日(火)	川間支店	高山
労務・年金相談	26日(水)	西船支店	川名

2月の相談日			
	開催日	開催場所	顧問名
税務相談	1日(火)	東部支店	松丸
	3日(木)	行田支店	青木
		柏支店	春日
	8日(火)	東部支店	松丸
		行田支店	深代
	10日(木)	うめさと支店	深水
	17日(木)	柏支店	春日
	22日(火)	西船支店	深代
		24日(木)	川間支店
西船支店	青木		
法律相談	17日(木)	西船支店	草薙
	18日(金)	柏支店	小倉
	22日(火)	川間支店	高山
労務・年金相談	16日(水)	西船支店	川名

東部地区にお住いで法律相談をご希望の方は、本店相談部へお申込みください。

今年の干支は 壬寅(みずのえ・とら)です。



改めまして、明けましておめでとうございます。

昨年の干支は「辛丑(かのと・うし)」。昨年の1月号で、一つのことが終わわり、新しいことが始まる「転換期」とご紹介いたしました。皆さまどのような年を過ごされましたでしょうか。

さて、今年の干支「壬寅(みずのえ・とら)」はどのような年になるのでしょうか。それぞれの意味を解いてみたいと思います。

まず、「壬(みずのえ)」は十干の9番目で、「妊に通じ、陽気を下に妊(はら)む」と言われています。固い身の中で命を育てる状態や、厳冬を耐えて生まれるという意味合いを持つそうです。

また、「寅」は十二支の3番目で、漢書によると「蟻(動くこと)」を意味します。春が来て、根や茎が生じて成長する時期・草木が伸び始める状態を指すと言われています。

これらから、厳しい冬を越え、そして春を迎え芽吹く。生命力溢れ、希望の年となるのではないのでしょうか。

新型コロナウイルス感染症も未だ予断を許さず、息苦しい日々をお過ごしの方も多いと思います。今年が皆さまにとって、壬のように陽気をはらみ、寅のように動きのある、希望にあふれる年となるようお祈り申し上げます。